ぴっぴだより　No.9. 2013.11.29

田んぼの冬仕舞いの季節になりました。わらを切ったものを土にすき込み、久しぶりに田んぼにオクを入れてみます。黒くとした土にオクがじわじわとしみこみ、やがて一面に広がって豊かにオクをたたえた田んぼの姿になりました。

今年はいつになくお米の出来がよくない年でした。田んぼをやっている農同士久しぶりに会うと「今年の出来はどう？」という言葉が挨拶がわりになりますが、「あまりよくないんだよね」と言いつつあまり落胆していない 聆がいました。前回の保護者会でお話したように、自然農では他から肥料のような物は持ち込まず、そこにあるもの…田んぼのわらや土手の雑草だったり、そういうものを肥料として土に返し、生態系を壊さないようにしてその作物が持つ力を信じて育てていきます。目の前の作物をよく見ること、どんな風に育ちたがっているのかその声を聞くこと、その作物が心地いい場所を作る、手助けをすること…「手を出し過ぎずその作物の力を信じること」…今まで田んぼと向き合ってきて感じてきたこと、ちょっと子育てと似ていると思いませんか。私の田畑の師匠 美斉津育夫さんは、「〜すると良い」「〜した方がいい」ということをおっしゃらない方でした。田畑の場所によって、土も温度も違うんだから、いいと思うやり方を試してみたらいいんじゃないか、と「〜ねばならない」という農法的なことにこだわらず、自分で考えることを促してくださいました。今年、田んぼの出来がよくなかった原因はいくつか考えられますが、それでも無理に肥料を足したりせず、たとえ少なくてもできたものを大切にいただこう、こんな年もある、きっと来年はもうちょっとよくなるはず…と田んぼを信じているような、現実を受け入れているような、そして祈るような気持ちでいます。

夏に美斉津さんが亡くなってから、その田畑を引き継いでいる山崎賢司さんを手伝うために仲間がしょっちゅう顔を合わせるようになりました。広大な芋畑でサツマイモ掘り、さすが美斉津さん、見事なお芋だね。本当にきれいな紫色！土からして手触り全然違うよね。こんなたくさんのお芋は干し芋にしよう、干し芋ワークショップなんて面白そう？大根はたくあんとして切り干しだけでなく、熟れた柿に漬けても美味しいらしい…やってみる？手を動かしながらみんなでしゃべることしゃべること。土に触れ作業しながらだとどうしてこんなに話が弾むんだろう？と不思議になるくらい。遠方から手伝いに来ている方に聞くと、ここでみんなと作業しながらしゃべると気もちが落ち着く、また自分の畑へ帰るとがんばろうって思える…としみじみ話されます。美斉津さんがのこしてくださったもの、種でも農法でも技術でもなく…それは人と人とのつながりだなあと強く感じています。一緒に農作業しながら話してやりとりの中で少しずつ関係が生まれ、人の輪も広がっていく。ここで得たものを分かちあい、きっとそれぞれの場所でいろいろな種をたくさん蒔いて、その輪も少しずつ広がっていくのだろうと思います。

ぴっぴのもち米にうるち米がたくさん混ざってショックだったけれど、そのお米をぴっぴで炊いたおこわのなんて美味しかったこと。このもち米でお餅つけるかしら…と心配していたらもち米分けられるよ…と助けてくれた仲間、ぴっぴみんなでついた美味しいお餅！大変なこともいっぱいあるけれど、田畑のまわりにある暮らしには美味しいことうれしいことの方がやっぱりいっぱいある。
ぴっぴでも着実に人と人とが出会い、関わり、むすびつき、分かちあい…みんなで一緒に食べるとおいしいうれしい気持ちも増えていく。
田んぼの冬仕舞いをしながら、田畑に向かってそして関わってくださる全ての皆さんに、今ありがとうをたくさんたくさんお伝えしたい気持ちです。

：美和子

♪おおきいくみだより♪

11/21 電車の旅のプリントを配布した。帰りの絵本の時間、松に「次のおおきいくみの月よう日にお出掛けするよ。」と伝えると「やったあ〜！」さらに「電車でお出掛けだよ！」と付け加えると「きゃ〜やったあ！」と喜びの歓声をあげていました。松にとっては初めての電車の旅。丁寧に説明しなくては…と思いましたが 朝「信濃追分って清里キャンプで行ったところだよね」後「しなの鉄道だよね。」電車の中のお約束も悠「はしっちゃだめなんだよ」翌「静かにするんだよね」と話しています。「大人のつかまる手すりにぶら下がって遊ぶのは？」と聞くとみんな大笑いで「ダメだよ〜 おとその人にご迷惑だもん！」陽「さわがないよ」理「おふざけダメだよ」と子どもたちからそんな言葉を聞くことが出来ました。　くり・おおくりさんに「おまんじゅうをお金を持って買いに行ってもらいたいのだけど…。」と提案すると「買い物したことある！」「お釣ももらえる！」「出来るよ！」と自信いっぱいの頼もしい声。　電車の旅に向けて楽しみをふくらませていきました。残念ながら 凛と翼は欠席でした。

初めての電車の旅に少し緊張の朋は前の友だちから離れないよう必死。でも電車に乗るといつも見る浅間山が見え「おやまだあー。」と外の景色を見る余裕が出てきました。
電車の中では綺麗なお姉さんを見て「あのお姉さんかわいいね」「綺麗だねえ〜」と憧れの視線を注ぐ女の子たち。ドーナツの袋を持っている人を見て「ドーナツの袋だね…たべたいね…」とコソコソ話をする 心と悠の2人。朝と後は「べっしょおんせん」「べっしょおんせん」と言い合い最後に「べべべべべっしょおんせん！」と大笑い！又、車窓から見えたリンゴの木と柿の木にたくさん実っているのを見て ひとりが うれしいあきのみのりです〜♪と歌いだすとみんなで歌いだし…。　電車の旅はそんな普通のおしゃべりも楽しみの一つです。
別所温泉駅に着き まっすぐ「足湯ななくり」まで行きました。タオルを準備し靴の中に脱いだ靴下を入れて、ズボンをまくって…。とここまで松もひとりひとり自分で仕度をしました。
そして入れ替わりで足湯を楽しもうと思っていたのですが ここの「足湯ななくり」はみんなで一度に入れたのです！まるくなってみんなの顔を見ながら足湯に入り「きもちいいね〜」奏「おまんじゅうたべながら入りたーい」などなどここでも楽しいおしゃべりに花を咲かせていました。
和菓子屋さんのご厚意でしんずつお金を持って買いに行くことが出来ました。「こんにちは」「おまんじゅうください」「ありがとうございました」がとても上手でだれひとり恥れたり恥ずかしがったりしませんでした。　ひとつのおまんじゅうを大切に大切に持って帰ってきました。
「2つ買ってお母さんのお土産にしたかったなあ」との声も老夫人から聞かれました。
足湯ななくり」からすぐの高台にある「北向観音」でお昼をいただきました。見晴らしが良く上田の町を遠くの山も一望出来、素晴らしい景色でした。昼食後は境内の中を見学。ひしゃくで手洗い、仁王様のお顔を拝見…。そしていつものように氷鬼やだるまさんがころんだなどの鬼ごっこ。　たっぷり遊ぶことが出来ました。　奏から「電車の中で面白いゲームしようよ！清里でやった四回し！(四渡し) 横にみんなで座ってできるじゃん!!」と提案がありました。
別所線では、二列に座ることが出来、貸し切り状態で四渡しが出来ました。電車の中で集団遊びが出来るなんて…。　帰りの電車の中も指相撲などで盛り上がる人　おしゃべりを楽しむ人…それぞれひとりひとりが楽しい時間を過ごしていました。
別所温泉のホテルや旅館に泊まりたいなあ〜 泊まって帰っちゃう？なんて話していると「パジャマないからダメだ！」「え〜無理！」と言っている中 翼が「みんな一緒だもん、大丈夫だよね！楽しいよね！」と話してくれました。　本当にみんな一緒って心強い。
みんな一緒って楽しい！おしゃべりして…遊んで…歩いて…　またひとつ みんなで過ごす時間を積み重ねることが出来ました。

：美穂

お知らせ

11/1に森の健診がありました。北澤恵美子Dr.が「ぴっぴの子ども達は、みんな心は横にふっくらと、身体は空に空にぐんぐんと大きくなっています。びっくりします」と話されていました。

11/14の松木正さんの講演会に参加された皆さま、どんな思いを持ち帰られましたか。どんなことに心動かされましたか。これからも時々、「自分を抱きしめてあげるような機会を作れたらいいなと考えています。たくさんのご参加をありがとうございました。

- 来年度の入園手続きが終わり、来年度の人数が決まりましたので お知らせいたします。

	男	女	計
どんぐり	6	4	10
松ぼっくり	6	1	7
くり	5	4	9
おおくり	2	2	4
		合計	30人

ひき続き 松ぼっくり 女の子を募集していますので よろしくお願いします。

- 毎週水曜日は デザートを準備していましたが 寒くなってきましたので11月中旬より あたたかい汁物を用意しています。

- 12月の えりんこたいそうは　10日(火)
  〃 おおきいくみ アートは　12日(木)

- くるみの日は あたたかい季節まで お休みです。

- 「小さな クリスマスの集い」のご案内
  日時　12月20日(金)　1時半～2時過ぎ
  場所　ぴっぴの森
  子ども達がクリスマスの準備を少しづつ始めています。小さな集いですがどうぞいらして下さい。25分頃お迎えにまいりますので駐車場でお待ち下さい。

田畑だより

4収穫祭ではたくさんのご協力をありがとうございました。
力持ちのお父さん方がはじめに丁寧にもち米をこねてくださったおかげで、なめらかなお餅がつき上がりました。きなこもお汁粉も美味しかったですね。何人かのお母さま方から「きなこが大豆からできているって知りませんでした。」「今まできなこが一体なにから出来ているか、考えたことがなかった。」というお話を聞きました。そうか、原料を想像しにくい食品って案外あるのかもしれませんね。原料も手作りの醤油もおいしい！という声をたくさんいただきましたが、やはり「お醤油って何から出来ているんでしたっけ？」と。(麦と大豆と塩でできていますよー)
大豆を殻から出してきれいにするのは量が多いとなかなか大変なのですが、人数たくさんでやると早いこと。まだ始末していない大豆や花豆があるので今度ぴっぴでみんなに手伝ってもらおう一つと。

：美和子

ぴっぴレシピNote 「さんきのカレーあんかけ丼」

- しょうが、にんにくのみじん切りをサラダ油で炒め、そこに人参・長ねぎ・白菜など季節の野菜の千切りを入れ、カレー粉と塩こしょうを振ってよく炒めます。
- そこへ熱湯を注ぎ、酒・みりん・醤油・砂糖少々で味付け し、水溶き片栗粉でとろみをつけます。
- 三枚おろしのサンマを小麦粉をはたいてからフライパンで焼き、ご飯にのせて上からカレーあんをかけてできあがり。
- カレー粉が辛いと感じる方は、甘口のカレールーを使ってみてくださいね。いわしやさわらなど季節のお魚でお試しください。

ぴっぴの森の小鳥たち（11月 イカル）

風が吹くたびに、葉が舞い、青い冬空が美しくみえる季節になりました。
初冬の森で小鳥たちは、食べ物を探すため、単独行動から集団行動へと暮らし方を変えてゆきます。イカルも晩秋の頃から群れになり、体の大きさとその通る声から姿が見つけやすくなります。
「ヒーホ、ヒーホ♪」「キョキョキョ…コキー♪」などという口笛のような声は、冬の森がぽっとあたたかくなるような楽しい気分になります。ぽってりとした黄色いくちばしがチャームポイント。このくちばしは、かわいいだけでなく、固い木の実を割るために進化した形なのです。
この冬、ミズキやミツバウツギの種をパリン、ポリンと食べている姿をみられるかもしれませんよ。黄色の口ばしを目印にね！

：栗々恵